

ゴビンダ通信

No 35

発行：無実のゴビンダさんを支える会
事務局

Justice for Govinda

- Innocence Advocacy Group

September 15.2008

2008年8月12日

しよちゆう おみまい もうしあげます。

支える会のみなさん、私の無実を信じてしえんして
くれた"さる全てのみなさんに、よこはまけいむしよの中から
心をこめて ナマステの "あいさつを送ります。まいにちむし
あついですね。エアコンとせんぷきか"ない小さいな狭い
部屋の中でむしむしして、あつくてたまらないです。ここは、
大変です。これもちきゆうおんた"んかのせいでしょうか？
さびしいきそくの中で毎日 きんちよう したながら しごとするのは、
とてもつらいけれど、10月からまた"るるいにもどれるよう、
また2年ごにむじこをむらえるためにか"んばります。
私の娘 ミティラちゃんか"とてもよいせいせき「1st Division」
で、S.L.C つまり「school leaving certificate's examination」
に、ごうかくしたそうです。またミティラちゃんか"これから大学行く
のでそのため必要か"ある金額「Amount of money」か"支える会
から「scholarship fund」を作ってしえんしたいということ
をききました。この二つのことで、いましあわせでいっはれ
です。うれしいくて安心しました。みなさんたいへんありがたく
みなさんのあたたかいご"きよろくで私のこどもたちのゆめかないます。*
かんじわします。無実のつみで、けいおしよにいられ、またさいぼん
しよから無罪はんた"んして「dicide」もネパールかえることできなかつた。
The Japanese law would be actually dead. The suicide Japanese Justice system.
みなさん私は本当に無実です。私は絶対に悪いこと
やってません。大変なとき、助けてくれた"さる人か"かみさまと同じく思います。
どうぞ助けてくれた"さい。"無実"ゴビンダ" フラサト" マイナリ。

2008年8月12日、よこはまけいむしよにて。

面会報告

「久しぶりに会って」 2008年9月8日

桜井昌司(布川事件再審請求人)

昨年の11月以来の横浜刑務所だった。前は、面会前に、ゴビンダさんとの関係などを聞かれたが、今回は、何事も無く面会出来た。

ゴビンダさんは、緑のズボンに帽子。それに面会用らしい白の上着を着て面会室に現れ、何時ものように両手を合わせて「ナマステ！」と、明るい笑顔で挨拶した。

面会に同行してくれた客野さんが「面会を知らせた葉書は届いた？」と聞いたならば、それはまだ届いてないらしく、「何と無く今日は面会に来てくれる気がして、昨日はヒゲを剃りました」

「テレパシーですね！」「心が通じあってるんですね！」と笑い合って話が始めた。

ゴビンダさんは、布川事件の決定を、昼のニュースを録音で流す夜に知ったそうで、両手を叩きながら、「嬉しくて拍手しました」と、本当に嬉しそうに話してくれました。自分の体験でもありますが、何んらか希望が欲しい獄中。我々の闘いが仲間の希望になる事実を目の前にして、もっと頑張らなければと思わされました。

ネパールの家族のこと、再審の弁護団の動き、私には判らない話もしてましたが、一番の気掛かりは家族。それなんだと感じました。社会に待つ家族がいる。それは幸せなことなのに冤罪の身は、そのことが苦しみや悲しみになる。何も無かった私は、ただ獄中の日々を明るく楽しく全力で、とやれましたが、ゴビンダさんは、そうは行かないですね。でも、そこを頑張りたいと思うし、そう言って来ました。

弁護団が鑑定をしたそうですが、布川が終われば、次はゴビンダさんの番ですからね。期待してますし、勝利に近づけるように、私も力を貸したいと思います。

今回のゴビンダさんは顔が明るかった。それが前回との違いでした。最後に、ゴビンダさんはアクリル板に両手を押し当て、さよならを言いました。私も、その手に重ねるように当てましたが、彼の手の温もりは感じられなかった。一日も早く取り戻したいですね。皆さん、一緒に頑張りましょう！

布川再審の状況

7月14日、東京高裁第四刑事部も、水戸地裁土浦支部の再審開始決定(2005年9月21日付)を支持。再審請求人である桜井さん・杉山さんの闘いは大きく前進した。

しかし、検察は恥知らずにも特別抗告期限ぎりぎりの7月22日夜になって、特別抗告の申立書を提出した。長年にわたり無罪証拠を隠してきた検察が、この上さらに再審を遅らせることは、もはや悪あがきにしかすぎないが、最終判断が最高裁にゆだねられたことで、この国の司法の真価が文字通り問われることになったと言える。

このたびの東京高裁第四刑事部の決定は、同部に再審請求をしているゴビンダさんにとっても、大きな希望と喜びをもたらした。

「北陵クリニック事件」守大助さんから支援者の皆さまへ

「獄中の靴会社に勤務して
父を想い 紳士靴縫う」

日中は、まだ暑さ厳しいものがありますが、夕刻と
なれば、秋の気配が感じられる季節となりました。

皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。私は就
職して(8/21~) 緊張した生活を送っておりますが、
元気に頑張っておりますので、ご安心ください。

関東・東海地方での記録的豪雨。ニュースを観
ながら皆様のことが、心配になりました。被害を
受けられた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

さて、8/21に靴製造会社へ勤務が決まり、今は
80名の社員と、一緒に汗を流しております。私の
担当は、紳士革靴の爪先部分を、仮縫いする作業
です。医療界しか知らないため、全てが初めての体験
なので慣れることで一杯です。夜間は会社側(施設)
考慮のおかげで独居生活、指定されておりますがTVも
観ることであります。年内は生活に慣れることで終ん
てしまうかもしれませんが決して闘いを怠りません。
採には、もう一度裁判資料を読み直します。毎日も
乗り越え闘いつづけます。今後もしも支援も宜しく願います。

08. 8. 30(土) (2794日目) 無実の守大助

<守大助さんの近況>

2008年2月25日上告棄却。3月10日異議申立棄却により無期懲役刑が確定。
7月9日、宮城刑務所から千葉刑務所へ移送されました。本人からの発信には制限があ
りますが、皆さまからの手紙は無制限で受け取ることができます。引き続き激励をお
願いいいたします。【〒264-8585 千葉県千葉市若葉区貝塚町192 守大助様】

11月学習会のお知らせ

許すな！「ロス疑惑」再燃！

～三浦和義氏に対する米当局の暴挙に、日本社会はなぜ怒らないのか～

講師 山口正紀氏 (ジャーナリスト)

日時 2008年11月1日(土曜) 午後1時半開場 2時～5時

会場 港区立港勤労福祉会館(第1洋室)

JR 田町駅三田 下車、徒歩5分

都営地下鉄三田駅下車、A7出 すぐ左隣

* 詳細は、同封のチラシをご覧ください。

街頭宣伝

毎月第3木曜日、夕方 6時から有楽町マリオン前で「名張事件」、「布川事件」、「大崎事件」、「北陵クリニック事件」などの支援団体と合同で街頭宣伝を行っています。

冤罪の実態を世間に広めるための貴重な機会です。みなさまもどうぞご参加ください。

『冤罪 File』第4号 11月1日発売 *全国書店にて予約受付中

福井女子中学生殺人事件

～ 矛盾だらけの供述以外に証拠は皆無、一審無罪判決はなぜ覆ったのか？

特急あずさ窃盗冤罪事件

～ 「被害者」の証言だけで有罪、否認すれば「反省ない」と実刑

その他、冤罪事件に関心をもつ市民にとって必読の記事や情報が満載されています。

発行元 キューブリック (TEL 03 - 3366 - 6901)

事務局からのお知らせ

事務局会議：隔月第2火曜日 午後6時～8時 現代人文社：四谷駅下車徒歩8分
< 次回は2008年11月11日(火) >

カンパへのご協力をよろしくお願いいたします。ミティラちゃんへの奨学金は、そのむねを通信欄にご記入ください(将来的には別口座の開設を検討中です)。ゴビンダさんに激励状を出してあげてください。日本語学習の成果により、平仮名、カタカナに加え、簡単な漢字なら読み書きできます。

[〒233-8501 横浜市港南区港南4-2-2 ゴビンダ・プラサド・マイナリ様]

無実のゴビンダさんを支える会 事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 ハッ橋ビル7階 現代人文社気付 TEL: 080-6550-4669

e-mail: govinda@jca.apc.org ホームページ <http://www.jca.apc.org/govinda>